芳工連だより

'15／06
第 132号

□ 発行　芳賀町工業団地連絡協議会　□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台　98　□TEL　028(677)5033
□ http://www.hokoren.com　□ E－Mail：information@hokoren.com　□編集責任者　七井　真人

■芳工連　定期総会開催

1）第 26 回芳工連　定期総会を開催

第 26 回定期総会を５月２１日、会員企業 44 社 63 名のご出席をいただき開催しました。司会は日新航空サービス岩野慎一郎様です。

来賓として見目匡芳賀町長、増渕さつき芳賀町議会議長、荒川政利県産業労働観光部長(代理橋本陽夫様)、高橋拓真岡労働基準監督署長ほか関係機関や団体を代表者する皆さまのご出席を頂きました。

万年博之芳工連副会長が開会のことばを述べ総会の開会を宣言しました。

小川審也芳工連会長は、「今年になって、20 か国の中央銀行が金融緩和を実施しました。東証 1 部の株価は 2 万円を超え、時価総額は 590 兆 9000 億円とバブル期を上回る水準に達するなど、世界各国のファンドマネーが日本に流れ込んでいるようです。アメリカ FRB の金利引き上げが、エコノミストの観測では 9 月との報道もあり、金利引き上げによっては日本市場に流れ込んでいるファンドマネーの流れが変わる懸念材料もあります。

また、欧州では昨年来のギリシャの金融デフォルト懸念が残り、我々の身近なところでは、新興国の成長力が伸び悩んでいるとの報道もあります。

国内経済は、企業活動が活発になっている指標もあり、景気は緩やかに回復していると言われています。円安により海外生産を一部国内に拠点を戻す動きは、新価値商品や高付加価値商品の開発を国内で、或いは、マザー機能は国内に持ちたいとの意向の表れです。

地方経済の活性化という意味では、企業を支える地域の経済基盤が大切です。我々も地方の行政の皆様と手を携え、企業活動を運営することが重要と考えています。

芳工連活動についても、会員企業が事業の充実と業務の強化を図ることは勿論ですが、必要な環境を確保するためにも、行政機関はもとより関係する諸団体との連携を図り、安全・安心な環境づくりに軸足を置いていこうと考えています。

昨年度の芳工連活動では、重点施策として掲げた労働安全衛生や交通事故防止等で部会関係者のアイディアをいただき、現場で協力をいただきながら、確実な成果を得ることができました。

交通渋滞緩和対策についても、主要道路整備事業の早期完成について継続的な陳情活動を推進してきました。また、管轄する警察署のご協力で交差点の渋滞対策でも大きな成果を得ることが

でき感謝しています。
　我々企業は、経済変化が速い時代にあって、安定した企業活動を営むために、単独企業では実現できない課題解決について、地域行政機関や関係する諸団体とのコミュニケーションを通じて一歩ずつ進めていきます。
　安全・安心づくりに終わりはないので、今後とも皆様の御理解と理解と御協力をお願いしたいと思います」と挨拶で述べています。
　ご来賓の芳賀町長、町議会議長、栃木県産業労働観光部長から祝辞を頂戴した後、小川審也会長が議長に就き議事が進められました。

2）議案の審議

　平成２６年度の事業と収支決算について報告した後、三菱 UFJ 信託銀行栃木芳賀センター長の荒井俊人監事が会計監査結果を報告し、上程した２議案は賛成多数で承認されました。
　その後、平成２７年度の事業計画（案）と収支予算（案）を事務局が説明、賛同多数で上程した２議案が可決されました。議事終了後、新規に加入した企業の紹介、異動等により変更となった役員並びに部会長の紹介がありました。
　閉会のことばを富永英夫芳工連副会長が述べ、上程した議案を可決いただいた謝辞と芳工連活動への御支援と御協力を賜りたい旨のお願いで締めくくられました。

3）懇親会を開催

　総会の終了後、会員とご来賓のご出席をいただき、中山克夫総務企画部会長の司会で懇親会を開催しました。
　開会宣言は、芳工連を代表し三菱 UFJ 信託銀行の石戸勇治様が担当し、乾杯の発声は芳賀町商工会佐藤政二会長にお願いしました。
　懇親会では、初対面の方々が名刺交換するなど、各テーブルでは和やかな雰囲気のなか、情報交換の歓談で盛り上がりました。
　楽しく華やかな懇親会でしたが、時間の都合もあり、鈴木康啓総務企画副部会長の中締めで締め括られました。

■交代の役員

　人事異動等により次の役員が就任しました。

役 職	企 業 名	役 職	氏 名
理　事	池田興業(株)宇都宮支店	支店長	京條　友彦
理　事	日本梱包運輸倉庫(株)栃木営業所	所長	米川　喜久
理　事	ホンダ開発(株)栃木事業部	取締役上席執行役員	主山　　功
理　事	(株)リブドゥコーポレーション	工場長	上田　勝男
参　事	芳賀町建設産業部商工観光課	課長	手塚　孝幸

■交代の部会長

　安全衛生部会長が人事異動によって交代しました。

役 職	企 業 名	役 職	氏 名
部会長	ホンダ開発(株)栃木事業部	管理課長	稲森　真樹

■交通防犯部会

■春の交通安全県民総ぐるみ運動
（5/11～5/２０）

1）交通安全のぼり旗の設置

交通防犯部会のメンバー１７名は、５月８日の午後３時から「交通安全のぼり旗」と「交通安全横断幕」を工業団地内バイパス交差点に設置しました。会員企業の社員は勿論ですが、通行するドライバーの皆様に対する交通安全意識の高揚と県民総ぐるみ運動の啓発に役立つことを願って設置しました。

参加された皆様、大変有難うございました。

2）交通安全ステッカーとエプロン配布

芳工連では交通防犯部会を中心に、交通事故防止の活動を継続して行っています。

今年度から、会員企業が取り組む交通安全活動の一助として、また、地域全体の皆様に対する交通安全運動の啓発に役立つよう、社用車に磁気性ステッカーを貼付していただく取り組みを始めました。

磁気性ステッカー

また、工業団地と宇都宮市内を走行するバスに、交通安全啓発エプロンを貼っていただくようお願いしました。JR バス関東（株）様の路線バス９台、サンクレール（株）様のバス２０台、（株）ベストロジ栃木様のバス２０台が、右写真のエプロンを前面に貼って一般道を走行しますので、交通安全に対する啓発効果が期待できます。

3）交通安全街頭広報の実施

５月１１日から 20 日まで実施された「春の交通安全県民総ぐるみ運動」に合わせ、５月 12 日の午前７時 30 分から８時まで、工業団地管理センター前交差点で交通安全街頭広報活動を行いました。

芳賀町副町長坪川幹雄様、真岡警察署からは署長石井嗣郎様、交通課長鬼丸純一様、町内駐在所警察官の皆様を始め、地域交通安全推進関係者、芳工連交通防犯部会メンバー１７名など総勢 50 名以上が参加しました。

参加者は、交差点信号で停車したドライバーに交通安全運動の重点を記載したチラシを配布しながら注意を喚起する言葉を掛けしました。

4）交通安全のぼり旗の撤去

交通防犯部会のメンバー１３名は５月２２日の午前 10 時から「交通安全のぼり旗」と「交通安全横断幕」の撤去作業を行いました。

業務多用なところ、ご協力いただいた会員企業と参加者に改めて感謝を申し上げます。

■環境整備部会

第１回クリーン作戦実施

５月２７日の午前９時から環境整備部会による第１回クリーン作戦を実施しました。

新緑まぶしい爽やかな時季、６６社 ２６８名の皆さまによる清掃活動で、工業団地内が綺麗な状態になりました。

各社のご理解とご協力のお蔭で、昨年を上回る会社数、参加人数となりました。

参加者はビニール袋を片手に、歩道・側溝などに目を配り、空き缶・煙草の吸殻などを拾い集めました。今回のクリーン作戦は、芳賀町チャレンジデー2015のイベントと同日開催で、参加された方々の人数はチャレンジデー参加者としてカウントしております。

参加された皆様ありがとうございました。

■安全衛生部会

1）普通救命講習会実施

５月28日 管理センター大会議室で１８社２８名の参加による、今期１回目の普通救命講習会を開催しました。

真岡消防署芳賀分署のご協力で、講師として４名の救急救命士を派遣いただきました。

この講習会は会員企業からの申し込みが多く、今回も募集とほぼ同時に定数に達しました。

講習会の開会にあたり、稲森真樹安全衛生部会長は、「不慮の事故や怪我に遭遇したとき、救急車が到着するまでの適切な応急手当が救命の決め手となる。そのような機会に遭遇した場合には、講習会を思い出して適切な対応をしていただければ幸いです。また、講師を務めていただく救急救命士の皆様にお礼を申上げます」と挨拶で述べています。

2）チャレンジデー参加

５月２７日に実施されたチャレンジデー２０１５については、町全体で 6,455 人が参加し 40.2%の参加率となりましたが、対戦相手となった鹿児島県阿久根市は参加者数 9,158 人が参加し 41.2%の参加率であったことから、芳賀町は残念ながら１ポイントの僅差で惨敗となりました。

芳工連の会員企業には業務多用なところ 25 社 1,892 人の皆さまに参加いただきました。

ご協力いただき有難うございました。

（注）25 社にはクリーン作戦の参加企業数は含みません。

３）真岡労働基準協会が総会を開催

真岡労働基準協会は、５ 月 ２０日に真岡市内で定期総会を開催しました。基準協会は昭和 23 年から労働環境の改善を推進する活動をしており、その地域は真岡労働基準監督署管内「真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、上三川町」の一市五町を所管しています。

総会には、芳工連からも稲森真樹安全衛生部会長、藤枝裕副部会長及び事務局長の七井が出席いたしました。また、加盟する芳工連企業の皆さまも多数ご出席されています。

真岡労働基準協会 橋本修会長（日産自動車（株）栃木工場長）は開会の挨拶で、「昨年の真岡労働基準監督署管内の労働災害発生状況は、一昨年に比較して微増であった。もっと努力せよ、努力しなさい、と我々は受け止めなければならない。結果を踏まえて今後の活動を行わなければならない。

７月の全国労働安全週間は、『危険見つけてみんなで改善　意識高めて安全職場』のスローガンで実施される。スローガンには労働災害防止対策を速やかに講じることを通じて、事業場の安全意識を醸成することが重要との思いが込められている。是非このスローガンの下で、当管内においてもて、一人ひとりが安全意識を高め、ゼロ災を目指していく職場づくりをお願いしたい」と述べています。

橋本会長が議長に就き、議案の審議を進め、平成２６年度事業及び収支決算の承認、平成２７年度事業計画（案）及び収支予算（案）の議決について、など上程した６議案すべてが賛成多数で可決決定しました。

任期満了に伴う役員選出で、芳工連会員から（株）本田技術研究所四輪 R&D センター執行役員小澤学様が副会長に選任されました。また、専門部会の総務部会に（株）ホンダテクノフォート渡邉和則様、産業安全部会に関東大協（株）田中康隆様、労働衛生部会にジェーピーエス製薬（株）鎌上章様、労働管理部会にホンダエンジニアリング（株）秋田谷富氏章様が就きました。また、運営委員に（株）本田技術研究所四輪 R&D センター西東竜也様、ジェーピーエス製薬（株）鎌上章様、（株）ホンダテクノフォート石川治一郎様が就きました。

来賓祝辞で栃木労働局労働基準部西本監督課長は、「労働災害防止、過労死防止など長時間労働の抑制、女性の活躍推進などの課題があり、栃木労働局としては、①女性・若者・高齢者等の人材力の強化、②安心して将来に希望をもって働くことのできる環境整備の２本柱を平成２７年度の重点目標としている。

栃木労働局では、死傷災害が増加している第三次産業、陸上貨物運送業、建設業、製造業への重点的な指導を実施する。また、転倒防止災害に特化した取り組みも実施する。健全な労働環境を確立できるよう労働行政の推進にあたり、協会の皆様にご協力をいただきたい。」と挨拶しました。

■芳賀町ロマン花火大会実行委員会

花火打上げは８月１日（土）に決定

５月７日午後４時から第１回ロマン花火 2015 実行委員会が芳賀町役場で開催されました。

実行委員会メンバーとして、芳工連から富永英夫副会長と事務局長の七井が役員に就いています。

最初に、今年度の花火大会の開催日時を検討し、８月１日（土）午後７時 30 分から打上げすることを決定しました。

昨年度は、町政施行 60 周年記念事業の一環として尺玉（10 号玉）５発を打ち上げました。今年度は尺玉の打ち上げはありませんが、豪華な花火大会となるよう協賛金を募集しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

会員企業様には、既に、ご案内の通知をお送りしておりますが、協賛金申込期限は６月 30 日(火)、入金期限は７月７日(火)までとなっております。

協賛金申込みは、所定の書式に必要事項を記載の上、ファックスで芳工連事務局へご連絡ください。

ご不明なことがあれば、事務局までお問い合わせください。

写真２枚は 2014 芳賀町ロマン花火です。

芳工連活動の実績と予定一覧

【５月の実績】

１日	芳賀町商工会理事会
７日	芳賀町ロマン花火実行委員会
８日	交通安全のぼり旗設置
11～20 日	県民総ぐるみ交通安全運動
12 日	交通安全街頭指導
12 日	芳賀町観光協会理事会
20 日	真岡労働基準協会定期総会
21 日	芳工連定期総会
22 日	交通安全のぼり旗撤去
22 日	芳賀町商工会定期総会
27 日	チャレンジデー
27 日	クリーン作戦
27 日	資源ごみ回収日
28 日	普通救命講習会

【６月の予定】

３日	芳賀町観光協会総会
５日	真岡地区暴力団追放対策協議会総会
11 日	全国安全週間説明会
14 日	工業団地内火災消火訓練
17 日	団管連理事会
18 日	環境整備部会
18 日	労働災害防止団体等連絡会議
19 日	芳賀町商工会理事会
23 日	安全衛生部会
24 日	総務企画部会
24 日	資源ごみ回収日